

## 第11回（2015年）審査講評

### 各賞の講評

#### ユニークデザイン部門

今年度から開設された本部門は、競技ルールに縛られることなく、自由な発想で設計されたユニークな機体を製作の上、飛行してもらうことで、飛行ロボットの新しい可能性を探ることを目的としている。

#### 第1位（OBK賞）： YS-II（秋田工業高専）

鳥の尾を模して、垂直尾翼やラダーが無い機体を構想の上、その独特の形態にもかかわらず飛行安定性や操縦性の高い機体を設計し飛行させた点を評価する。

#### 第2位（三菱商事賞）： Jetliner（東京農工大）

アイデア自体は既にも実証されているものの、飛行機と飛行船を融合させたハイブリッド方式により大型旅客機形態の機体を製作し、フラップと脚機構を活用した上で、屋内を旋回飛行させた点を評価する。

#### ベストプレゼンテーション賞

#### 夢ナビ賞： empress（都立産業技術高専）

インフレタブル型全翼機を開発し、その安全性と取り扱い易さについて、ポスター上で明確に示した点を評価する。

#### ベストデザイン賞

#### エアバス賞： Pegasus（秋田工業高専）

自動制御機構の活用に適した機体形態を見極め、大会開始から11年を経て初めて「飛行ロボット」と呼ぶにふさわしい機体を飛行させた点を評価する。今後は自動着陸機能の高性能化を期待する。

#### ベストパイロット賞

#### ANA賞： NAVIX-f（名古屋大学）

左右翼端にローターを取り付けたオートジャイロ機を設計し、機体形態に起因して操縦が比較的困難な非対称姿勢時でも的確に飛行させた点を評価する。

#### ベストクラフト賞

#### 住友精密賞： Libellen-15（日本大学）

変形トラス構造を有した双胴型機体を工作精度高く製作し、安定に飛行できる機体を開発した点を評価する。